



学校だより 寒河江市立醍醐小学校 校長 清水 信子

だ い ご

令和6年
10月18日
NO. 6

ふるさとを愛し、未来を拓く子どもの育成～(だ)れとでも仲良し・(い)つでも本気・(ご)はん大すき～

創立150周年記念式

10月12日は、醍醐小学校の創立150周年記念式でした。オープニングは、ふるさとクラブの子どもたちによる日和田弥重郎花笠田植踊。創立100周年の時にも披露していたようです。式辞では、明治7年に慈恩寺学校として開校してからの歴史や昔の創立記念式の様子、シンボルであり校章となっているモミの木などについて伝え、多くの人に支えられて今の姿があるという感謝の気持ちを忘れないでほしいと話しました。6年生の児童代表挨拶や各学年代表児童の夢発表で、自分の夢や頑張ることを堂々と伝える子どもたちには、頼もしさを感じました。慈恩寺学校で掲げられた校訓「誠実・忍耐・創造」、そして今年度の学校教育目標「ふるさとを愛し、未来を拓く子どもの育成」に向けて、子どもたちの良さをさらに伸ばしていきたいと思えます。



オリンピックである池田めぐみさんからは、創立記念式のテーマである「夢」について話していただきました。子どもたちは、フェンシングの道具をさわらせてもらったり、クイズに答えたりしながら、夢を持ったら頑張れる、夢は生きる力になったという話を聞きました。池田さんからは、子どもたちの将来に向けて、①やればよかったという後悔はしない(迷ったら、やる)②乗り越えるために壁はある③起こってもいけないことに不安にならない④人と比べない(過去の自分より良くなったかが大事。自分を褒めてあげる)という4つのアドバイスをいただきました。

<昔の醍醐小思い出コーナー> 10/31まで展示中

創立150周年記念として、クリアファイルを全戸配付しました。また、玄関ホールには、昔の写真や当時使用していた物などを展示しています。今月いっぱい展示していますので、ぜひ学校に足を運んでいただき、ご覧ください。

よく考え、心豊かに、たくましく、共に生きる子どもへ

社会の中で自立的に生きる基礎を培うのが、小学校の目標です。教室での学習で基礎的な力をつけるのはもちろんですが、教室から外に出て活動する場面でも、「よく考え、心豊かに、たくましく、共に生きる」力がついてきます。教科書通りにいかない場面が必ず出てきますし、生活の中では他の人と関わる力、粘り強く取り組む力が大事です。

10月3日に、人権の花運動がありました。3・4年生は、人権擁護委員の方のお話を聞き、花壇への花植えを始めました。花を見た人が気持ちよく、優しい気持ちになるように、優しい心で花を一つ一つ植えました。「こっちに植えるといいよ。」「カップ、集めておくれ。」と、優しい言葉が飛び交っていました。

人権の花運動



秋の学校 (芋煮会)



10月11日は、秋の学校でした。学校の畑で収穫した里芋やネギを使い、縦割り班で協力しながら芋煮を作りました。芋煮会日中で、子どもたちは、事前に分担した役割を確認しながら、手際よく芋煮の準備を始めました。火の起こし方が早く、予定より30分以上も早く芋煮が出来上がりました。一番早く「いただきます」をした班は、10時半。「昼ご飯？おやつ(の時間)だと思った。」と言いながら、みんなでおいしくいただきました。

慈恩寺 子ども ガイド



11月の主な行事予定

- 5日(火) とんと昔の会
- 7日(木) 3時間授業(研修会のため)
- 13日(水) 4時間授業(研究会のため)
- 20日(水) 児童集会活動
- 22日(金) 5年校外学習
- 28日(木) 授業参観・引き渡し訓練

詳しいことは後日
お知らせします。

5・6年生は、慈恩寺子どもガイドをしました。10月3日は西根小学校の3年生に、10月4日は観光客に、これまで調べてきたことをまとめ、相手に合わせて言い方を変えながら慈恩寺の魅力をガイドしました。回数を重ねるごとに上手くなり、観光客の方から「上手だね。」「よく伝わる説明だ。」と褒められて、満足気でした。